

項目	目的 (アクション)	経営資源	(手立て) 方法・手順など			
			実務(①) 【定型的業務の処理】	調整(②) 【校内組織との協働・連携】	企画(③) 【企画・立案・提案】	地域戦略(④) 【学校間・地域連携】
条件整備 (1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程における学校事務職員の位置づけを明確にする</li> <li>○学校ビジョンの達成</li> <li>○整備計画</li> <li>○財務計画</li> <li>○財務執行</li> <li>○情報活用</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・教育活動や授業が見える立場を確立する ・学校ビジョンの達成や学校評価に関する事務処理を行う	・学校教育活動のコーディネーターの役割や学校マネジメントの能力を発揮する ・学校ビジョン達成に向けた取り組みについて、教職員との調整を行う	・学校評価結果等から自校の課題を見つけ、学校ビジョン達成のための解決策を提案する	・地域内の学校のビジョン達成のため共通課題を整理し、解決へ向けて企画・立案する
		モノ(II) 【物的資源】	・授業や学校行事で使用する教材や備品等の情報収集する ・施設・設備・教材の整備に関する事務処理を行う	・施設・設備・教材の整備計画の基となる、資料の収集・分析・調整等を行う	・授業や学校行事で使用する教材や備品等の提供を通して、教育活動をサポートする ・自校のビジョンに沿った、効果的な施設・設備・教材の整備計画を立てる	・市町村の教育ビジョンに沿った施設・設備・教材の整備計画を提案する
		金(III) 【資金的資源】	・校内の公費や私費全てを把握 ・財務計画のための情報収集や資料作成等を行う ・学校予算や徴収金等の執行管理を行う	・自校の財務計画について、学校予算・徴収金開や分掌間等の調整を行う ・自校の学校予算や徴収金等について執行状況を確認し、補正対応や各予算間の調整等を行う	・学校教育目標達成に向けた自校の財務計画を提案する ・自校の財務執行管理(予算・徴収金等)の適正化を提案する	・市町村や地域内の学校のビジョンに基づき、地域の学校を総括した財務の長期・中期計画を提案する ・地域内の学校の財務執行管理(予算・徴収金等)の適正化を提案する
		情報(IV) 【情報資源】	・情報活用に関する作業や、情報収集及び教職員への情報提供等を行う	・学校運営や教育活動への情報活用のため、関係機関や教職員との調整を行う	・学校経営への財務、情報、施設・設備、カリキュラムマネジメントをとおしての関わり事例を紹介し、子どもたちの教育に一貫を担う学校事務職員の姿を教職員に知ってもらい実践してみる ・自校における、情報を活用した学校運営や教育活動について提案する	・地域内の学校の、教育活動や学校運営のための情報活用を提案する
連携・組織化 (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校内における連携・組織化を目指す</li> <li>○組織の活性化</li> <li>○学校支援体制の充実</li> <li>○学校のシステム化</li> <li>○地域連携の推進</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・組織の活性化へ向けた取り組みについての事務処理を行う ・学校支援・学校ボランティア等に関する情報提供や、事務処理を行う	・校内において組織的に進める事務組織を確立する ・企画(運営)委員会への参画 ・教育課程編成会議への参画 ・組織の活性化へ向けた取り組みについて、教職員との調整を行う ・地域からの教育活動への支援について、関係機関や教職員との調整を行う	・校内組織の課題を整理し、活性化へ向けた取り組みを提案する ・地域からの支援が必要な自校の教育活動について、支援の実施や体制の整備を提案する	・地域内の学校の共通課題を整理し、活性化へ向けた取り組みを企画・立案する ・学校支援地域本部やボランティア等による学校支援についての事業を企画・運営する
		モノ(II) 【物的資源】	・事務職員の業務に関する事務処理システムの標準化を行う	・校務処理システムの導入に伴う、教職員との調整を行う	・校内会計事務システムの活用(県事務研作成) ・自校で活用できる校務処理システムの導入を提案する	・地域内の学校が共有できる標準的な校務処理システムを企画・立案する
		金(III) 【資金的資源】			・予算委員会の設置	
		情報(IV) 【情報資源】	・地域連携に関する情報提供や、事務処理を行う	・学校情報管理を統括 ・地域との連携について、関係機関や教職員との調整を行う	・地域の教育力向上の視点で、地域と連携した自校の取り組みを提案する	・家庭・地域との連携を推進し、地域の教育力向上のためのしくみを企画・立案する
研修 (研修制度) (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の力量向上のための研修への積極的参加と成果還元</li> <li>○研修企画</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・自己啓発研修への参加 ・実務研修への参加 ・教職員研修に関する情報提供や、事務処理を行う	・教職員研修の実施に向け、関係機関や教職員との調整を行う	・学校経営に積極的に参画し研修で学んだことなどを参考に事務改善を行う ・自校の教職員に必要な研修を企画・運営する	・地域内の学校との連携による教職員研修・講演会等を企画・運営する
		モノ(II) 【物的資源】	・校内の教育条件整備や情報収集を行う			
		金(III) 【資金的資源】	・予算執行方法の習得	・学校総予算から見た予算調整	・学校総予算からよりよい予算配分・執行の提案	
		情報(IV) 【情報資源】	・法令の習得	・効率的な情報共有を学び生かす	・アクションプラン実行シート(会員シート)を活用し事務改善等に生かす	・地域全体での情報共有方法を学び生かす
意識改革 (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎実務を確実に、組織的・対外的信頼を高める</li> <li>○児童生徒との関わりを意識する</li> <li>○施設・設備・教材の活用</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・日々の事務処理工程表などを作成 ・根拠規定に則した事務処理を行う ・日々の事務実践(事務改善、保護者負担軽減、事務だよりなど)により事務職員も含め全職員で学校教育を担っていることを意識させる	・校内での仕事のチェック体制を強化する ・教職員間のコミュニケーションづくりに努め、他職種の仕事内容を理解する	・教職員全体で取り組んでいける計画を策定し実行する(各種運営計画など)	・地域の人たちに協力頂き、地域全体で教育をする。
		モノ(II) 【物的資源】	・施設・設備・教材の活用に関する事務処理を行う	・備品などで教科指導計画の見直しなどに関わりを持つ ・施設・設備・教材の活用を円滑に進めるため、関係機関や教職員との調整を行う	・自校の施設・設備・教材の活用状況を見直し、教育効果を高めるための改善策を提案する	・地域内の学校の施設・設備・教材の活用状況を検証し、教育効果を高めるための改善策を提案する
		金(III) 【資金的資源】	・私費負担を少なくし、公費で賄えるようにする	・予算などで教科指導計画の見直しなどに関わりを持つ ・校内の年間の経常経費とその分担当を調整する	・学校総予算から見たよりよい予算計画・執行を構築する	
		情報(IV) 【情報資源】	・教育計画を理解する ・情報公開に向け自分の業務について説明できるように努める	・職員の意見等を反映し、職員の理解と協力が得られるような方法を検討する	・事務職員へのニーズ把握のための情報収集やアンケートを実施する	・保護者や地域のニーズに応じたタイムリーな情報を収集する
任用制度 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修の参加</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・自己研修の遂行			
		モノ(II) 【物的資源】				
		金(III) 【資金的資源】				
		情報(IV) 【情報資源】				
制度改革 法的整備 (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会規則、訓令の遵守</li> <li>○情報管理</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・事務の標準化のために法令遵守を各自が徹底する		・「学校事務(部)経営計画」など、学校で必要とする内規を作成する	
		モノ(II) 【物的資源】			・「文書取扱規程」など、学校で必要とする内規を作成する	
		金(III) 【資金的資源】			・「学校徴収金取扱要領(規程)」など、学校で必要とする内規を作成する	
		情報(IV) 【情報資源】	・業務上取り扱う情報について、適正な管理を行う	・自校の情報管理の適正化に向け、関係機関や教職員との調整を行う	・学校財務や文書を含む情報管理システムを構築する ・自校の情報管理体制を見直し、管理の適正化について提案する	・地域内の学校の情報管理体制を見直し、規程整備等を提案する
社会的認知 の向上・ 広報活動 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校事務の仕事について自ら発信できるようにその必要性も含め研究を推進する</li> <li>○情報発信</li> </ul>	人(I) 【人的資源】	・自らの業務内容を把握する	・各種会議で学校事務に関する情報を提供し、理解の深化を図る	・「ふくしま教育週間」や「学校財務ウィーク」を利用して、学校事務職員の役割や財務情報資料をまとめて視覚的啓発をする	・PTA活動を通して学校事務の仕事を理解してもらえよう、積極的に関わってみる
		モノ(II) 【物的資源】				・HPや学校だよりにて事務情報を掲載したり、保護者向けの事務だよりの発行を目指す
		金(III) 【資金的資源】				
		情報(IV) 【情報資源】	・情報発信に関する作業や文書作成等を行う	・効果的な情報発信を推進するため、関係機関や教職員との調整を行う	・自校における効果的な情報発信の推進について提案する	・地域内の学校の、効果的な情報発信の体制づくりを提案する